



JR 東労組水戸

JR 東労組 水戸地方本部
発行責任者 村 田 祐 一
編 集 情 宣 部 担 当

2026.9.17

No.3

『「水戸事業本部」の体制見直しについて』提案を受ける！

1. 実施内容

常陸大子乗務の業務を水戸乗務に集約することで水戸事業本部の体制を見直す。

2. 関係箇所

水戸事業本部

3. 実施日

2026年度末

4. スケジュール

社員周知は9月中旬、その後に教育および訓練。施策実施日は3月中旬

※スケジュールについては変更となる場合がある。

※必要な教育および訓練等は実施する。

5. その他

体制等については別途示す。

主な労使議論

組合：施策の目的を示すこと。

会社：JR東日本グループ経営ビジョン「勇翔2034」の実現に向けて、効率的な業務執行体制の構築を図り、これまでの枠組みに囚われず、社員の活躍フィールドを拡大していく考えである。

組合：常陸大子乗務の業務を水戸乗務に集約する理由を明らかにすること。

会社：当直や指導及び計画担当の業務を一元化することができることや、1つの職場で行路作成することで効率的な業務執行体制を確立するためである。

組合：常陸大子乗務を水戸乗務に集約することで、労働時間増加や便乗が増えることが懸念される。

会社：常陸大子駅～郡山間の輸送体系が変わらない限り、便乗等が発生する認識である。2026年3月ダイヤ改正で実施した浜通りエリアの体制見直しでも同様である。社員と意見交換等を行いながら不安解消に努めていく考えである。

組合：教育や訓練の内容を明らかにすること。

会社：教育および訓練のスケジュールは以下の通りである。

●施策前に行う教育について

- ・2026年11月から水戸乗務の運転士に常陸大子駅～郡山駅間を営業列車で訓練を行う。
- ・2026年度末までに1本にさせるのではなく、本人の習熟度等を見て丁寧に行う考えである。

●施策後に行う教育について

- ・常陸大子の乗務員は水戸乗務に集約後に教育・訓練を行う。
- ・常陸大子乗務の運転士は水戸線及び常磐線一部(小山駅～勝田駅間)、水郡線上菅谷駅～常陸太田駅間の先見およびハンドル訓練を行う。
- ・常陸大子乗務の車掌は常磐線普通列車の水戸駅～高萩駅間及び常磐線特急列車水戸駅～いわき駅間の教育を行う考えである。

組合：「体制等については別途示す。」とあるがいつなのか明らかにすること。

会社：今施策は行路の変更に合わせて実施する。準備でき次第、別途示す考えである。

雇用と利益を守るため、JR東労組に結集しよう！